

| | | |
|---|-----------------------|--|
|  <p>公益財団法人宮城県水産振興協会だより</p> | 2021年 12月6日 第7号 | 発行 公益財団法人 宮城県水産振興協会 〒985-0812 宮城郡七ヶ浜町松ヶ浜 字浜屋敷 142 番地の 1 TEL 022-253-6177 FAX 022-253-6178 http://www.mgff.or.jp/ |
| | | |

宮城県産アワビ稚貝の出荷

令和3年度は、エゾアワビ稚貝約105万個の出荷を計画し、5月14日から11月18日にかけて103.2万個（殻長20.9～45.5mm）の稚貝を県内19ヶ所の漁協支所等へお届けするため、県に引き渡しました。

現在は、来年度の出荷に向けた稚貝の飼育および生産に向けた採卵用母貝の準備等を行っています。



アワビ幼生

成長したアワビ稚貝

出荷に向けた
稚貝の袋詰め作業

ホシガレイ稚魚の放流

令和3年2月3日、8日及び15日に（国研）水産研究・教育機構水産資源研究所（宮古庁舎）より搬入したホシガレイ受精卵約21万粒を、宮城県水産技術総合センターの指導のもとふ化飼育し、10月3日に県内で開催された第40回全国豊かな海づくり大会の放流行事及び関連行事用として、9月9日から10月14日にかけて4回出荷しました。

また、同じく水産資源研究所（宮古庁舎）から5月13日に搬入した全長約6cmのホシガレイ稚魚を、当協会にて約9cmまで中間育成した後、約6千尾を7月7日、9日の2日間にかけて県内7ヶ所に放流しました。



成長したホシガレイ稚魚



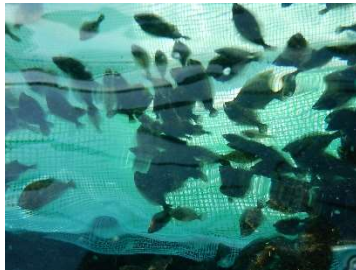
ホシガレイ稚魚の船上放流

ヒラメ稚魚の放流

令和3年7月6日から8月12日にかけて、5回にわたり（一社）岩手県栽培漁業協会からヒラメ種苗を搬入し、直接放流及び当協会での中間育成放流を併せて約21万尾を、8月3日から8月12日にかけて県内14ヵ所に放流しました。放流稚魚の大きさは全長約7～8cmでした。

そのうち、稚魚6,000尾は、標識として背鰭上端をカットして花浜地先（七ヶ浜町）の海域に放流しました。標識ヒラメを再捕された方は、当協会までご連絡下さい。

また、豊かな海づくり大会の放流行事用種苗として、約1万尾を宮城県に引渡しました。さらに、湾ダブルしおがま・海体感会実行委員会の主催するイベントに協力して、約8千尾を提供しました。



成長したヒラメ稚魚



鰭カット標識を付した
ヒラメ稚魚



ヒラメ稚魚の船上放流

トリガイの種苗生産

七ヶ浜町からの委託を受け、令和3年7月に七ヶ浜町産トリガイを使用して人工採卵を行い、約6mmに成長した稚貝約2,600個を9月16日に出荷しました。



成長したトリガイ稚貝



稚貝の出荷（袋詰め）

新規漁業就業者確保育成などに関する取り組み

当協会内の宮城県漁業就業者確保育成センターでは、「みやぎ漁師カレッジ」を開講しています。石巻市、南三陸町を中心に6月から始まっている7ヶ月間の長期研修では、新規漁業就業希望者3名と漁業に就業して間もない漁家子弟2名の計5名が、漁船漁業や養殖業の現地研修及び船舶免許等の資格取得研修に励んでいます。

さらに、3日間の第1回短期研修を10月22日から10月24日まで七ヶ浜町、東松島市、女川町を会場に開催し、10名の受講生が定置網の網起こしや、カキ剥き体験等を行いました。

また、漁業就業に関するワンストップサービスも行っており、漁師になりたい方と漁業の担い手を求める漁業経営体との繋ぎ役を担っていますので、ホームページ (<http://ryoushi-miyagi.org/>) のお問い合わせフォーム、または当協会 (TEL: 022-253-6177) までお気軽にご相談下さい。



長期研修開講式



短期研修閉講式



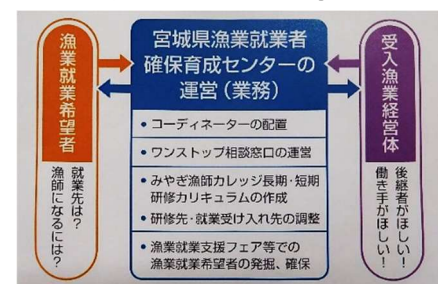
長期研修の様子①



長期研修の様子②



長期研修の様子③



漁業就業者確保育成センターの業務内容